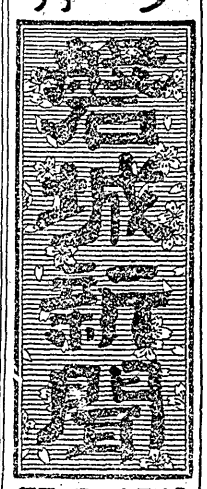
夕刊



十月十二日　發行

定價一ケ月金六拾錢（郵稅拾五錢）
國外（郵稅共）金六拾錢
廣告料　金五拾錢
（郵稅共）
（公開）
（日曜祭日翌日休刊）
昭和四年十月廿日第三種郵便物認可
昭和四年十月廿日第三種郵便物認可
發行人　柏木哲
編輯人　柏木哲
發行所　磐城新聞社
發行人　柏木哲
編輯人　柏木哲
發行所　磐城新聞社
電話　五六四番
電話　五六四番

山口剛先生を悼む（下）

島田忠夫

山口剛先生は茨城縣土浦の人、早稲田大學高等師範部英語科を卒へて、一時群馬縣下に中學教師をされ日露戰爭に從軍して、つんばでも、全く江戸になつた。その後中耳炎をつ病んで久しく病臥、のち母校に歸つて教授となり國文學を講じてゐた。

×

山口先生は平安朝文學及び、江戸文學の權威であつた。また支那文學にも造詣ふかく、左傳研究、朱子研究の著書を執筆中であつたさらに先年來、圓朝研究に意を注ぎ、齋原多助、安中草三郎の研究のため、今春は上州へ調査の旅をされた。

先生のつんばは甚だしいもので、到底並の聲では通じない。日本女子大學の講師をされてゐる頃、耳がとほい先生をつけ込んで、生徒が喋つてカンニングをしたと云ふ有名な話。

また、歌舞伎座へ支那服を着て自動車で行く時、運轉手に本ものゝ支那人とまちがへられて『このじどうしや、バンクした。あなた降りるよろしい』と云はれた話、等々。

×

大津で三味會員から揮毫をたのまれた時、仲々先生は承知をされなかつた。（尤も東京でもめつたに書かない）その時、青戸かねといふ産婆で六十幾歳になる人が大福餅を一箱さげて、山口先生にと持つて來た。剛先生は大へんよろこばれ早速色紙二三枚書いて與へられたのである。

×

□いろいろお染久松春の雨

こんな通人めいた句も作つただけ、先生は書齋の調度、衣服でも、全く江戸つ子好みであつた。劍道は二段、柔道は初段だといふ學教授ではなかつた。かへす〳〵も惜しいことである

（十月九日、水戸常盤病院にて）

武藏野（詩）

磯上六花

平野は夕の影に蔽はれ
地に安息は瞬り
家々の燈は瞬き
廣大の天には
麗麗な星がまき散らされて
大陽の反しやを受け

時代警語

○剛毅なる人と瀑布とは自ら道路をつくる……（英俚諺）

何事も自己によつて開拓し得るとの剛強なる信念を以て瀧の如く道も開くべし、岩石も砕くべし、流すべし、而して名を成すべしである……

潮聲句會（第四十八回於萬袋居）

雜詠（4）

滴りに山冷せまる徑かな　松堂
夏深し團扇の手すれ蚊帳の鍍　文狂
新凉に氣も爽やか癒覺かな　素秋
夕立雲むら〳〵湧きて虛雷かな　松堂
新蕎麥に祭の人となりにけり
しのゝめの雲の動きや螢草　竹羊
水打つて夕顏の鉢下しけり
百合咲いて夏草の山丸きかな　石城
青黴のまゝに干しある鰹節
砂利おろす音の聞ゆる暑さ哉　逸郎
朝々や市の木の子に偲ぶかな　蘭外

月夜

庭の木の葉が
夜露にぬれて
光つてゐる
遠峰のデツサン
水田の面に
映ゆる月が
蛙のメロデーを
じつと聽いてゐる。

岡かに閃めいてゐる

10月13日

△明治天皇東京還都（明治五）△戊申詔書下る（同四一）△上

海副領事清水亭氏自殺す（昭和五）△颱風西日本を襲ひ三重縣相賀町で四十餘戸流失、三十六名溺死△胡漢民監禁をとかる△聯盟理事會開會滿洲事變討議（同六）

社會の今日

○

秋水や入日に寒き芒原　鶴女

青い空足袋干し乍ら石
鹼の、殘り香をかぐコ
スモスの花　木庭まつゑ

時局情報

平商業學校配屬將校　駒塲謙

（承前）—日本は空中作戰の爲に理想的な目標を呈して居る、日本列島は産物に乏しいばかりでなく新鮮な

拓華微笑

鑛山監督局が理由を明かにして當局に石炭運賃値下げを要求

◇

拘子定規で對內的に許り動いて

◇

單價六七十圓の物と三四圓の物と同運賃。此邊が不合理の極

◇

ラヂオの新內容

冴え、冷い夜風に秋深みゆく

時代

（156）

お蘭陀お蝶

講談　渡邊默禪作

布施長春畫

今は人數に制限なく又風儀もいくらか變つてゐるが赤前垂のみやびた姿は昔の

來た官廳の對外的活動は愉快だ

◇

單價六七十圓の物と三四圓の物と同運賃。此邊が不合理の極

◇

ラヂオの新內容

冴え、冷い夜風に秋深みゆく

餘りに蹙々しいので勘藏はつと座を立つた、そうしてはなれ座敷に席を代へてお柳が浴後のなりの申上げやうもございません』

とお辭儀をした

いかにもさつぱりとした浴衣姿、宿の浴衣に洗ひ髪の白紛氣もない生地其のまゝの街はぬ面に匂ひやかな禮譏としようせ！、いや實珠の光をぱつと浮かせて硬はな、おつちの座敷でゆるい程の瞳のゆらぎに人殺し

只飲みして暴れる。不景氣だと惡戯虫の良いので出て來る

◇

ラヂオの新內が却つて良いとか、宿の者が申しますのでアノ幕湯とやかまし

ら急にさつぱりいたしまして何だか生れ變つた樣な氣がいたします、本當にあなたさまにはとんだ御厄介を懸け申しまして何とも御禮の申上げやうもございません』

とお辭儀をした

いかにもさつぱりとした浴衣姿、宿の浴衣に洗ひ髪の白紛氣もない生地其のまゝの街はぬ面に匂ひやかな禮譏としようせ！、いや實珠の光をぱつと浮かせて硬はな、おつちの座敷でゆるい程の瞳のゆらぎに人殺し

さまに有難う存じます』

お柳は行燈を斜につゝまらねえのだアハ……』

とろりとした目を浴せかじく坐つて

『少し熱があるやうに存じましたからどうかと思ひましたけれども温まつた方が申しますのでアノ幕湯とやかまし

ら急に這入つてまゐりました！』

『はい、私はアー……』

お柳は一寸つかゝて

『おつしやられない先に申上げなければならないのに取紛れて失禮をいたしました、私の名は雪、アノ雪と申します』

『ア、雪か、名は體を現はすどやら柄相應の雪は面白いな？何處だ、家は……此邊の在所でもなさそうだねそして何處へ行く途であんな事になつたのか、それを聞きたいものだが』。

『ソノやうな者が結構で坡

『だが姐さん、いつまでもやうな者では居られまい、一つ名前を聞かうぢやないか何と言ふね、お前さんは

『エ、そんな堅ッ苦しいことを言はれちや困る、袖振はヌ海外作戰指導の方式にれるのが胸の嘔吐く原因でり合ふも多少の縁、よく言して一大變革が起りつゝあさつぱり酒が呑めねえからふ奴だらうが全く因縁事だることも知つて居る過去の延公と言ふ猪飛助に敵を任らうや、私もお前さんのやせて俺は此方へ陣ばらひさうな方と運り合つて病氣を介抱したと旅日記に書き止めて置きあ、江戸の友人に

『エ、そんな堅ッ苦しいことを言はれちや困る、袖振はヌ海外作戰指導の方式にれるのが胸の嘔吐く原因でり合ふも多少の縁、よく言して一大變革が起りつゝあさつぱり酒が呑めねえからふ奴だらうが全く因縁事だることも知つて居る過去の延公と言ふ猪飛助に敵を任らうや、私もお前さんのやせて俺は此方へ陣ばらひさうな方と運り合つて病氣を介抱したと旅日記に書き止めて置きあ、江戸の友人に

『御冗談ばかりオホ、、、

ねた、酌をして欲しげに手私の樣なものでも宜しうど

つから取上ぐる德利もお尻

か輕そうが上戸である證據

赤前垂のみやびた姿は昔の

『私のやうな者？』

お柳は何の氣もなく調子

『私のやうな者？』

お柳は何の氣もなく調子

『はい、いろ〳〵と御親切

ラヂオ

…十三日…〔木曜〕…

仙臺　JOHK

△前六、〇〇　七、〇〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇　料理献立（すいきと技豆の胡麻酢味噌）日用品値段
△一〇、二〇A　家庭講座（家庭に於ける工業常識）東京府立實科工業學校長津田信良
△正午A　時報　氣象
△後〇、〇五　錦琵琶（屋島の樂）諏訪櫻慶
△〇、四〇A　ニュース
△二、〇〇A　家庭大學講座（道德上の因果）東京帝大講師大島正德
△二、二五　五、二〇A　運動競技（六大學野球リーグ戰試合狀況豫備日）
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△六、〇〇A　（子供の時間）漫畫劇（からす勘吉）漫畫劇場
△六、二〇A　コドモの新聞　岡村花子
△六、二五　英語講座（中等科）ジョージ、ケイジャー
△六、五五A　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇　講演（滿洲と化學工業）日本學術協會理化學研究所理學博士鈴木庸吉
△八、〇〇　放送舞臺劇（阿閑掃部と青木新兵衛）前進座河原崎長十郎一座
△八、三五〇　歌澤（一、口舌して　二、ぬれぬ先）歌澤芝ノ田
△八、五〇A　連續講談（關根彌太郎）田邊南龍
△九、三〇A　時報
△九、三一　滿洲より（講演）執政府諮議中島多比吉
ニュース　氣象

漆器の御買入時

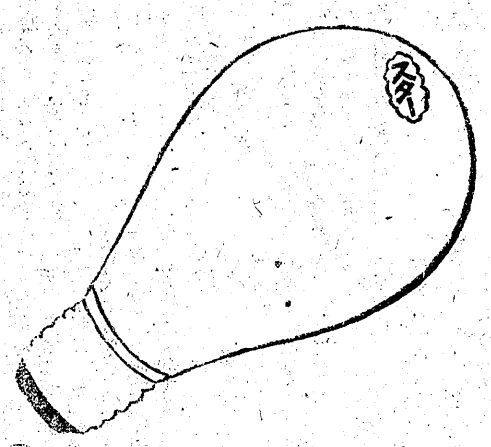
漆器は空前の大暴落を致して居ります。再び得難き最底絶好の御買入時です

（共）は漆器を專門に在庫品を豐富に取揃へ

各位の御滿足を得るに努力致して居り此の絶好機に御求めを切に御奬め申上げます。御滿足を得らるやう！何如樣にも御相談に應じます故是非一度御照會を。

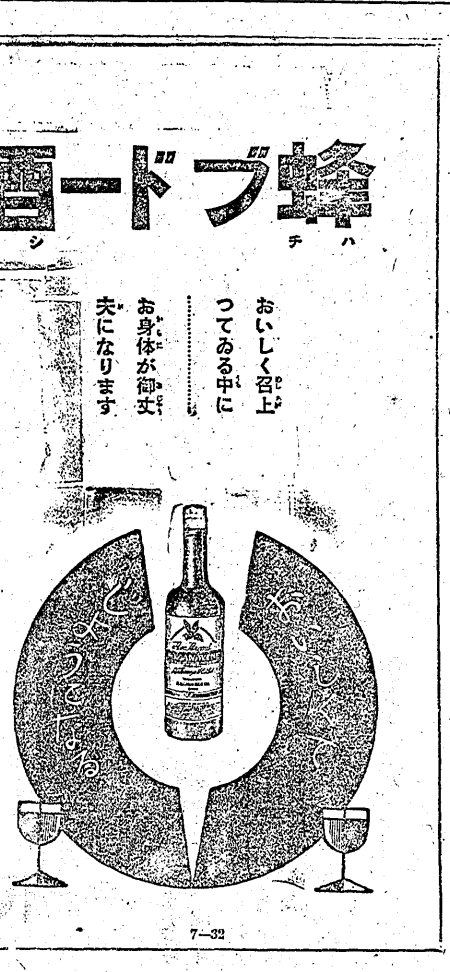
各國產漆器專門卸小賣
共榮漆器店
（平町8町目36元郵便局裏通）

店員募集　十二三才…小店員　三十才迄…外交員　優遇す



ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下ゲ

十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三　大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番



專門　一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士　川井眞之
女醫　川井安子

專門
內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平長五〇七番

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九二タクシーヘ
（デンワ、ミクニ）

夜診療間
胃腸　內科　十二指腸虫病　專門　內科部
極毒　淋病　皮膚病　婦人病　專門　外科部
松村醫院
（平町南町電一〇七番）

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話四八二番
（入院隨意）

監督官廳も參加して
常磐炭鑛維持に努力
確實な論點から運賃値下げ要求

一ケ年百九十萬三千三百噸一ヶ月平均十五萬八千餘噸（昭和六年中の實際量）を出炭する常磐炭鑛が不況打開の第一方策として其筋に熱心運動を續け來つた鐵道運賃値下げ問題は近來漸く幾要項を社會局に報告したが分その目的に近づきつゝある旨屢報の如くであるが所轄仙臺鑛山監督局では專門技術官を現地に特派しばしば實情を調査した結果石炭と運賃の關係が他の鑛石々劃策せるも元來寄附の目的を以てする町村の起債は成るべく之を許さゞる事に手すると

なつてゐるらしく之が爲め縣廳方面の雲行きが頗る險惡なるものがあり町理事者が少からず氣を揉んでゐたが其筋でも此際起債以外他に途が無いと思惟したものと見え昨十二日認可の指令を發したので町では組合の分も保證して早速實行に着

鐵道外の需要增加
今上旬中の送炭統計

先月來順に增加の一方を歩み來つた常磐炭の今月上旬中に於ける各出元發送高は

營業用三、四一二車　四二、三二八噸　省用一、一二八車　一六、七六九噸　合計四、五四〇車　五九、〇九七噸

で前年同期に比し營業用一、七二二噸增、省用一、一七七噸減、差引五四五噸の增で前月中に於ける一六、〇二九噸の增差に比すると遙かに增加率の低下を示してはゐるが營業用が依然相當の增加を續けてゐるのは時節柄大に刮目に値するものがある

〈運賃比較〉常磐炭と鐵、銅、コークス、木炭等の一噸、一キロ當りの鐵道運賃と、その商品價値を比較すれば石炭の單價一圓五十錢乃至四圓、運賃一錢九厘に對し他は左記の如き割合で石炭が如何に商品價格の低い割合に運賃丈け高い事になつてゐるかゞ判る

種別	單價	運賃
鐵及鋼	七〇圓	一五〇毛
銅	六五	一三九
コークス	三〇	一〇四
木炭	一五	七三

工業倶樂部詰記者團來山
十六日本社案内の下に
三大炭鑛視察

石炭の鐵道運賃値下げ問題は今や中央に於ても非常に重要性を認められ來つたが日本工業倶樂部詰左記各新聞及通信社記者は十六日午後六時二十二分著磐越線列車にて來平住吉屋本店に一泊十七日午前八時出發本社の案内で古河、磐城、入山各炭鑛内外を視察し大に實情を調査の上同日午後歸京するとの

東日（對馬）　報知（正立）
中外（小野）　時事（谷村）
讀賣（志賀）　國民（駒村）
電通（倉田）　聯合（天野）

四倉漁港修築地元負擔
十一萬起債決定
昨十二日認可指令さる

四倉漁港修築費の地元負擔十一萬圓（内六萬圓漁業組合、五萬圓町）の財源捻出外殆と全然他に途が無いのに就ては從來永い間の促進運動に疲弊し切つた同町と共に差し當り起債に俟つ以て過敏來その方面に就て夫

三坂澤渡救濟事業起工
一日三百人を使用し
愈々稲刈後に着手

三坂、澤渡兩村に於ける工費三千五百圓の左記救土木事業は此程平土木監督所赤津技手に依り設計完成し稲刈終了を待つて着工する事となつたが一日三百人を使用する見込であると

△三坂村大字差鹽より下三坂に至る村道（四百圓）△大字中三坂地内村道（千圓）△澤渡村大字下市萱より新田に至る村道（二千二百圓）

若松大佐講演會
十五日聚樂館で
血湧き肉躍る實戰談

騎兵學校教導隊長若松大佐講演會は十五日午後二時から二時間平町聚樂館で開催する事に決し同日午後一時五十六分着下り列車で來平するので在郷軍人、男女青年團、婦人會、各學校生徒各種團体が驛前に塔列歡迎住吉屋本店で歡迎會を開く

何萬年前の舊象？
德永博士の鑑定に就て
山口磐女教諭は語る

鳳陽フサ、白土トモ、鈴木蝶、吉田イツ（紺屋町）藥谷エイ、柳下タツ（堤之内）大和サキ（材木町）山中カヨ、今田みゑ、岡部縣三郎（二町目）山崎勇治、陣野シゲ、腰塚小獸骨に關する鑑定の結果に彌吉（八幡小路）飯野淡衡（揚土）渡邊フヂ（一町目）白土ルイ、綿引親光（仲間町）梶田カネ、宗像リキ（番匠町）生田目イネ、堀江正直（舊城跡）青沼ミオ（南白銀）佐藤安兵衛、齊藤カヤ、（北白銀町）小林勝利（田町）友部ナカ（胡麻澤）近藤ツル、生田ヨウ、渡邊トメ（立町）清原タケ金成ト（才槌小路）原シウ

飯野村地から發掘された怪に驚かれて調べられ度いとの事で、牙及び臼齒の方は單にその附近と言ふだけで表土中より採取されたらしく出所を確定し得ないので價値は疑はれてゐます。

吉野谷層と言ふのは、阿武隈山地の古期岩石の東麓を蔽ふ第三紀層を三分類して古期、中期、新期とし、その新期の下層群に相當するものです。石炭層は主に古期層の下部にあり上層は順次その上を蔽ふて海岸の方に分布してゐます。

何年前かと言はれると困ります。地質の方では主に層序を取扱ふので確定的な事はわかりません。

多分何萬年前と申言ふのでせう。

日本で發掘の化石の發見されたのは第三紀の中頃より新しい地層で、常常磐第三紀層中より發見されたと言ふ事は未だ私は聞いて居りません。今度の化石發見に依つて地層發掘の關係がどうなるか等とは今後の研究に待たねばならず私にはわかりません。

愈々出廻り薄
四倉繭市場十六日閉鎖

四倉繭市場昨十一日の相場左の如く買馴五十圓八十錢高五十五圓、最低三十五圓、買馴五十圓八十錢

白買數四百四十八貫、最

尚出廻り不足から十六日限り閉場する事となつたが昨十一日現在の取引は二萬六千四百三十九貫金額十二萬三千五百四十圓である

健康の模範五十二名
九十二歳以下八十歳まで
招待デー　平敬老會

平町女子青年團では十六日平第二校に於て第四回敬老會を開催し町内八十歳以上左記五十二名を自動車にて送迎し兒女の遊戯其他で大に接持するが最高齢者は天保十二年生れの山中カヨ媼（九二）であると

（長橋）今宮和平、關内トク、江尻ハル（仲町）横田カタ、沖野仙五郎、沖野ヨシ、大野チエ、大槻スギ（鍾田）氏家ノブ、（久保町）永山千代吉、沼田リツ、青木ヨネ、會川ヨシ、秋山吉次郎（道匠小路）坪山清十郎（南町）室直與、小島ノブ、柳生トミ（十五丁目）佐藤啓次郎（新川町）鈴木ツキ

ると指環、鐺等の裝飾品がる人のマスコットである惠となつた

滿洲行
藤田中尉
第十九信

先づは亂筆ながら御禮まで申上げます。最後に御尊家樣の益々御自愛專一の程お祈りします。十一月十四日車中にて、渡邊喜美子樣。車中故鉛筆にて走書き御免下さい

◇而して最後　の頁には『陣中の愚作御覽下さい』と書してこんな歌も鮮かに詠まれてあつた。

○鄭家屯滯在中入營前の敎へ子を思ひて——。

幼けき敎子思はぬ日とてなき、異國に遊ぶ子等見る毎に。

○涯しない露營地にて若き日の悔なきたゝかひ願ひつゝ、枯野に朝日仰ぐなりけり。

○過ぐる日の激戰の後——遼河のほとり血ぬられて、渡るかりかね亂れ飛び交ふ。

○昨夜來進軍中つはものの夢はこび行く軍用車、いつくに墓所求むらん

◇巧拙は元より余の問ふ所ではない今身は決戰を覺期し乍ら刻々敵前に近接しつつあるのだ。而も闘士が最後の一首『……いづくに墓所を求むらん』不可思議にも私の胸はおのゝひてこの頁には神々しい姿であらう。武人の面影皆正にしかあるべきだが敎養なく修養足らざるものにとつては望んでも得られぬ魂の磨きであらう。生徒は皆感激して喜ぶ。

◇山崎氏の信　書を手にした私は翌日の朝禮時に說つた、朗かな而して力强いそれには三間房や昴々溪の頃に暗かり私の胸は棒を嚙んで下した樣に硬直した。

◇純情に燃え、清新に生き感情に强い女生徒は一齊に顔見合せて喜び合ひ感激して涙をこぼすものすらあり、幼けき敎子思はぬ日とて、異國に遊ぶ子等見る毎に。

◇巧拙は元より余の問ふ所ではない今身は決戰を覺期し乍ら刻々敵前に近接しつつあるのだ。而も闘士が最後の一首『……いづくに墓所を求むらん』不可思議にも私の胸はおのゝひてこの頁には神々しい姿であらう。武人の面影皆正にしかあるべきだが敎養なく修養足らざるものにとつては望んでも得られぬ魂の磨きであらう。生徒は皆感激して喜ぶ。

◇山崎氏の信　書を手にした私は翌日の朝禮時に說つた、朗かな而して力强いそれには三間房や昴々溪の頃に暗かり私の胸は棒を嚙んで下した樣に硬直した。

金は各家庭から
古物商人へ
奔騰時代續く

第一で金齒。眼鏡樣が之に次ぎ全体の約三分の一を占め其他金ペン、煙管、カンザシなどから金滿家を夢見る人のマスコットである惠となつた

病氣靜養を理由に
伏見町長辭表提出
明急施町會で善後策協議

平町長伏見彦衛氏は今十二日正午突如酒井助役の許に病氣靜養を理由に辭表を提出したので餘りの唐突に吃驚した町では明十三日午前九時から急施町會を開き之を奬勵し毎月その成績を報告させてゐるが中には幼い女の身で街頭に出でて家計を助けてゐる感ずべきものなどもあり成績頗る良好であると

北滿水害救濟義金
古河炭鑛で募集

古河炭鑛では北海道及北滿地方水害救濟慰問金として係員三十錢以上、勞働者十錢以上の割で一般從業員から醵金中である

郡敎育部會總集會　來月十三日午前九時から平第一校に於て開催二十五年勤續者五年間無欠席者の表彰をなすが當日の講師は東京高師佐々木秀氏である

手當り次第盜み廻る
リヤカー泥の餘罪發覺送檢

第二小學家庭作業補助奬勵學校では六月以來家庭作業の手傳ひを奬勵し毎月その成績を報告させてゐるが中には幼い女の身で街頭に出でて家計を助けてゐる感ずべきものなどもあり成績頗る良好であると

四倉町會
四倉町會は

十三日午前十時から開會、工費豫算三萬圓の匡救事業

七七銀行平支店長更迭
七十七銀行平支店長

森質氏は今回宮城縣田尻支店長に轉任した、氏は宮鹽

來賓無き祝賀會
珍劇林道竣功式

双葉郡大久村林道改修に就ては其筋での取調中なるに拘らず昨十一日午前九時から同村堂木原に於て盛大なる化石發見に依つて地層竣功式を擧行したが案内を發した六十餘名は殆ど出席せず火の消えた樣な淋しさであつた

小川方部鑑況　上小川は去月十五日頃上簇し平均五十二圓で賣却、下小川は目下三眠乃至四眠前後である

只飲んで暴れる　平町梅香町一八木田安五郎方同居中村町元新町生れ瓦職高橋幸次郎（三五）は昨十一日午後八時頃平驛前カフエータピラで六十錢の無錢飲食をした外亂暴を働き平署に檢擧され目下取調べを受けて居る

磐中野外演習　磐中四年生は十三日午前八時から好間村上の原方面に於て野外演習を行ふ

少年消防演習　平第一小學校少年消防隊は十一日の運動會に消防競技を行ふべく寄々計畫中である

家出仲の索渡願　横濱市神奈川區神奈川通り七丁目二六二個養蚕造業卯之助長男田邊英一（一七）は五日夜無斷家出したが書置其他から平町方面に來たらしいと實父から平職業紹介所に捜索方を願ひ出た

多市に六ケ月　勿來町鎌田多市（四一）が勿來町出嶽坑に雇はれ三月より九月までの間に八回に亘り外一名の同僚と共に鉋金百三十三貫銅線八十貫を窃取し磯原町豊田野口孝雄（三一）に盜品である情を明かして賣却した事件は十一日水戸區裁判所伊藤檢事より懲役八ケ月野口に懲役六ケ月の求刑があつた

御料理　八千代
平町田町
電話三七五番

まむし粉藥の微妙なる靈能
肺、助膜、心藏、慢性胃腸病、神經衰弱、動脈硬化、不眠症、子宮、血の道、神經リウーマチス、便祕、精力減退の人
强精强壯滋養料トシテ御試シ下サイ驚ク程効メガアリマス。
平町五丁目二十二金光堂時計店裏
井内

丈夫デ安イ　二重ガラス
金銀高價買入
金光堂時計店
平・五　電一九五

路銅定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神祿館

舊九月十日　木曜　新
丁未　佛滅
十月十四日　收
日井宿　三

▲一白の人　日暮れゝに宿るべき家なく夜道を辿る如し▲二黑の人　安定の地位をみつから破壞する所行あり可らず▲三碧の人　妄進は警戒すべき日熟慮の上勇往努力せよ▲四綠の人　物事に迷ふ時はきまんのわなに陷り易し萬注意▲五黃の人　萬事温和なれば過ちなく進み求むるは不利▲六白の人　躍進身にまとはるも大事を起せば後悔すべし▲七赤の人　他の依頼に餘儀なくせられて迷惑の起る日▲八白の人　不運を辿るものにて分外の望無ければ宜し▲九紫の人　運途旺にして願望成就すけうしやは慎しむべし